

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	技術英語 2
科目基礎情報					
科目番号	0013		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『Essential Genres in SciTech English』 Judy Noguchi, Masako Terui (金星堂)				
担当教員	野口 隆				
目的・到達目標					
技術英語に用いられる語彙や表現法を学習し、専門分野に関連する論文や、英文マニュアル、ホームページなどを読みこなし、それを元に自分から発信していく力をつける。また、学習した語彙・表現を用いてプレゼンテーション能力の向上をめざす。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 まとまった長さの説明文を読み、概要を把握できる。	毎分100語程度の速度で読み、概要を把握できる。	毎分60語程度の速度で読み、内容についての質問にyes, no で答えられる。	文章の概要を全く理解できない。		
評価項目2 前もって準備をすれば毎分100語程度の速度で約2分間の口頭説明ができる。	目標の速度で正確に約2分間の口頭説明ができる。	目標の速度である程度正確に約2分間の口頭説明ができる。	約2分間の口頭説明ができない。		
評価項目3 毎分100語程度の速度の英語で口頭でやり取りや質問・応答ができる。	目標の速度で口頭で英語のやり取りができる。	相手の協力があれば目標の速度で英語のやり取りができる。	口頭で英語のやり取りができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教養 C1 教養 C2 教養 D1 専門 E3					
教育方法等					
概要	技術英語に用いられる語彙や表現法を学習し、専門分野に関連する論文や、英文マニュアル、ホームページなどを読みこなし、それを元に自分から発信していく力をつける。また、学習した語彙・表現を用いてプレゼンテーション能力の向上をめざす。				
授業の進め方と授業内容・方法	授業前に教科書の内容は読んでいることを前提に授業を行う。 オーラル・イントロダクションを兼ねて内容を理解しているかどうかの確認のために英語による Q&A を行う。 教科書の内容についてグループ・ディスカッションを行い、その内容をまとめて発表する。 また各自の研究分野を一般向けに説明するプレゼンテーションを課す。				
注意点	辞書は必ず持参すること。 1 単位あたり 30 時間の自学自習を必要とする。				
実務経験のある教員による授業科目					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス/Unit 1: Safety Rules	本講義の目的、教授法、評価方法が理解できる。内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		2週	Unit 2: Recipe	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		3週	Unit 3: Product Specification	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		4週	Unit 4: Instruction Manual	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		5週	Unit 5: Laboratory Manual 1: Background	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		6週	Unit 6: Laboratory Manual 2: Procedures	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		7週	Unit 7: Q&A: Facts	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		8週	Unit 8: Science Feature Article	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
	2ndQ	9週	Unit 9: Meeting Announcement	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		10週	Unit 10: Company Website	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		11週	Unit 11: Curriculum Vitae	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		12週	Unit 12: Call for Paper	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		13週	Unit 13: Registration Form	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		14週	Unit 14: Email	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	
		15週	Unit 15: Research Paper Abstract	内容について理解し、英語の質問に答えることができる。	

		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	0	80
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0